



二十六聖人

2023年12月号

No.364 (2023年12月3日発行)

カトリック二俣川教会 TEL 045-391-6296

<http://www.futamatagawa-cc.com/>

主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

巻頭言：星の幸せ

わたしたちは東方でその方の星を見たので、
拝みに来たのです。(マタイ 2, 2)

年が巡り、もう今年最後の月となりました。世の中は、年末年始の雰囲気 deep でしょう。町の道や商店街は華々しいツリーと、きれいなクリスマス電灯の光が、人の視線を引き、足を止めさせます。時には、馬小屋や聖家族の姿も見えます。そして、みんなでその美しい風景を楽しみます。本当に温かい風景です。



大きな星がありました。東方から三人の博士たちを導いてくれた星です。山を越え、川を渡り、荒れ野を歩いていた博士たちには、その星が唯一の導き手だったでしょう。そう

です。その星には、そういった任務が授けられていたのです。星は何も話せませんでした。まるで、話しかけるかのように穏やかに瞬いていました。夜空でも、昼間でも、じっと博士たちを導いていました。でも、彼らの足は、なんと、ヘロデの宮殿へ。

星は泣きたいほど悲しくなりました。「夜も昼も、絶え間なく光を放って、彼らを導いてきたのに、どうしてこの宮殿に入ったのか。」星にはどうしても分かりませんでした。しかし、星は悲しみながらも待ちました。その悲しい時間はどのくらいだったか分かりません。ようやく、宮殿から博士たちが出てきました。その時、星はどれほど嬉しかったのでしょうか。星は、自分に目を向け歩きはじめた彼らの道を、また導き始めました。

そしてついに、星が止まりました。でも、そこは小さい家の馬小屋。でも、一瞬、博士たちは足を止めました。そして、彼らはもう一度、星を見て、決心したかのように、その馬小屋に入りました。そこは、馬や牛、羊たちがいて、その家畜の群れのおいがしたでしょう。ところが、そのみすばらしい馬小屋の真ん中に、マリアと赤ちゃんのイエス様、

そしてヨセフがいたのです。そこで、博士たちは何もためらわず、その救い主を拝み、黄金と乳香、没薬を贈り物として捧げました。じゃ、自分の任務を果たした星はどうなったのでしょうか。それについては各々にお任せいたします。

きっと、星は喜んだと思います。 その高い大空で、一番低い所に生まれた救い主を照らすだけで、星は幸せになったに違いありません。いかに高い所にいても、いかに豊かに物事を知っていても、いかに華々しい経験があっても、いかに正しい知識を持っても、

それで、いかに輝いていても、一番低い所におられるイエス様を見いだせない人は、何と憐れな人でしょう。なぜなら、その様々な形の星のような光は、ただ、愛の赤ちゃんであるイエス様によってしか輝けないからです。その大事な光を、自分のために輝かすのはとても悲しいことでしょう。赤ちゃんのイエス様と、そのイエス様を囲んだ周りの人たちを照らせる人は、本当に幸いな人なのです。わたしたちの心にその昔の愛の星がのぼり、今も瞬いていますように。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求

2023年11月 教会委員会報告（開催日：11月5日）

【信徒意見への対応】

皆様から頂いたご意見に対する討議結果をご報告します。

意見「神父様の食事を作る賄いの方がいて欲しい。」（神父様は自炊されている）
神父様の回答：ご配慮は大変有難いですが、自炊は慣れているし気楽なので今のままを続けたいと思います。ほかの神父様が来られたときは、改めてご要望を聞いてください。

【検討事項】

1. 医師（I.先生）の意見を踏まえて、12月3日堅信式後のお祝いパーティーではマリア会パーティー係にお願いして飲食物を用意することにしました。ティーパーティー形式にする予定です。
2. 教会委員有志が中心となって「ふれあいミニバザー」を検討しているので、その内容について検討しました。
3. 待降節・降誕節期間中の諸行事について日程の調整を行いました。
4. 来年度に向けて各委員会・信徒会に教会委員交代の検討依頼がありました。教会委員の任期は一期2年、原則二期までとなっています。

【報告事項】

1. 典礼委員会

12月2日(土) 聖家族とアドベントクランツの設置を行います。12月24日(日)の10時ミサ後に待降節用口ウソクを、1月8日(月)の10時ミサ後に聖家族を、それぞれ片付けます。

2. 教会学校

- ・教会学校は、11月5、19日と12月10、17、24日です。
- ・11月11、12日と11月26日(日)に堅信勉強会、11月19日(日)に七五三を行います。七五三には5名出席の予定です。
- ・12月17日(日)ミサ後にゆるしの秘跡、12月24日(日)10時ミサのなかで聖劇を行います。また、初聖体の勉強会を年明けから行う予定です。

3. キリスト教講座

- ・11月26日(日)10時ミサ後のお知らせで堅信を受ける方を紹介します。その後、神父様の講話と堅信式リハーサルを行います。
- ・12月2日(土)に待降節黙想会を予定しています。指導は雪ノ下教会助任司祭の上杉優太神父様です。

4. 財務委員会

2024年度収支予算を教区に提出しました。

5. 福祉委員会

12月15日、マリア会のアンナ会に作って頂いた手作りクリスマスプレゼントと青年会からのクリスマスカードを持って横浜療育医療センターを訪問する予定です。

6. 共同墓地委員会

・11月3日（金・祝）に上大岡共同墓地で95～100名の方が参加されて追悼ミサを行いました。同日、M.M.様、S.S.様の納骨式が執り行われました。また11月22日（水）に上大岡墓地でK.様（3体）の納骨式を執り行う予定です。
・11月3日追悼ミサの動画を貸出します。借りたい方は共同墓地担当者（S.）までご連絡ください。

7. ヨゼフ会

・コーヒー光を10月8、22両日に行いました。また、10月29日のフィ神父様初ミサ後のパーティーでコーヒーを提供しました。

8. マリア会

・10月29日フィ神父様初ミサ後のティーパーティーを準備・セッティングし、片付けました。
・ボリビア支援グループが11月19日に「のんびり日曜日」でジャム販売を予定。

・アンナ会が横浜医療療育センターの方への手作りクリスマスプレゼントを作成し、福祉委員会にお渡ししました。

9. 青年会

・11月12日の保土ヶ谷教会バザーに参加します。同教会とは12月24日にクリスマスカードを渡すイベントも行う予定です。
・来年1月14日の新成人のお祝いの案内を対象者9名に送りました。
・12月24日10時ミサ後に子供達対象のクリスマス会を予定しています。軽なお茶会と歌を考えています。
・11月の韓国訪問について報告がありました。別途、信徒の方に詳しい報告会を行う予定です。

10. インターファミリー

・10月22日のミーティングで、バザーのメニュー決めと来年度の講演会実施について話し合いました。
・11月19日にアルペなんみんセンターへのクリスマスカードを作成する予定です。

以上



韓国訪問報告 その1

10月21日から23日までの2泊3日、韓国はソウル、そして議政府へ行って参りました。予定をすべて…いえ、予定以上の計画をすべて無事に過ごし、素晴らしい時間を過ごさせていただきました。**来年1月21日(日)に報告会を計画しておりますが**、それを前に12月号、1月号の2回にわたって『参加者の声』をお届けします。

参加者の声

韓国での3日間を振り返ると、たくさんの光景が鮮明に思い出されます。金浦空港から出ると街中で飛び交う韓国語を聞いて韓国に来たなっていう実感や、日本と違う街並みにとてもワクワクした気持ちになりました。韓国で交流予定の青年たちと仲良くなれるかなという不安もありましたが、言葉では言い表せないほど素敵なおもてなしをして頂き、同じ信仰を持っている仲間と国境を越えて繋がりができたことはとても嬉しかったです。様々な場所に行き、3日間でたくさんの教会を訪れ、濃密な時間を過ごせたことは私にとってかけがえのない時間となりました。仕事の都合で毎週教会に行き、ミサにあずかることがなかなかできていない生活ですが、韓国での3日間ではたくさんお祈りをして心静かに過ごす時間があり、久しぶりにゆっくりと神様と向き合う時間だったなと思います。今回できたつながりをこの先も大切にし、自分に出来ることを考えながら青年の仲間たち、二俣川教会のみなさんと信仰生活を歩んでいきたいと思います。

パウラ・モンタル O. R.



ソウルの神学校にて。7月に二俣川教会に来た神学生たち

何が1番心に残っているか。溢れるように思い起こされて、ストップさせることが難しいほどです。頑張ってます1つだけ選んで話すならば、多くの韓国人信者さんと共に捧げることができた、明洞カテドラルでのミサです。夜19時からの主日の青年のミサ。私たちの席は確保していただいていたのですが、それでもミサの為に聖堂の外の列に並んで待ったこと。聖堂に急いで入り、最前列でミサの始まりを静かに待っていた時、聴こえてきた青年聖歌隊の歌声。美しく重なり合い広い聖堂に

響き渡る歌声に、早くも感涙。ミサの始まりと共に、ずっと私たちと共にいてくださった姜神父様、李神父様が祭壇におられる姿。私たち二俣川教会青年たちのための意向を捧げてくださったこと。信者の皆さんの息のあった、大きな「ミサごたえ」の声。聖歌などは青年向けのもの、神様に感謝し賛美する心が燃え立つような旋律。言葉すべてはわからなくても、それでも「わかる」喜び。聖変化の時に歌われた御聖体と御血を賛美するテゼ風の聖歌…。何か、コロナ禍にあって久しぶりにごミサを捧げられた時のような新鮮さと意味深さが心の奥から湧き起こり、喜びが込み上げたことが思い起こされます。この3日間は、少しも途切れることなく再会と出会いのお恵みの中がありました。本当に多くの方々が私たちのために準備し、共にしてくださいました。感謝の言葉ありません。私たちは頂いたものをしっかりと抱きしめ、深めていきたいと思っています。神様に感謝！

マリア・ローザ O. Y.

初めての韓国、初めての家族以外と行く海外、たくさんの初めての中で多くのことを経験し、感じることが多い3日間でした。まず、3日間を通してたくさんの教会と聖堂を見ましたが、すべての教会にそれぞれデザインの違う素敵なステンドグラスがあり、とても驚きました。私が知っている教会には、ステンドグラスがあるところが少ないので、色味や大きさなど特徴が異なる様々なステンドグラスに刺激を受けました。特にトクケドン教会はステンドグラスだけでなく、会室の部屋の名前を決めたり、札を作ったりなど、教会に対する思いの強さを感じることができました。また、明洞カテドラルで、多くの韓国の信者さんたちと一緒に捧げたミサでは、聖歌のメロディーや響き方、聖歌の手話、聖別時の言葉など、日本のミサとは異なることがたくさんあり、またその一つ一つに心を感じることができ、鳥肌が立ちました。一月に韓国から訪問してくれた家族と今度は日本から来た私たちと韓国で一緒にミサを捧げているということにも神様に導かれたつながりを感じ、とても温かな気持ちになりました。3日間、韓国で出会って快く迎えてくれた方たち全てのことが記憶に残っています。神父様方をはじめ、司教様、神学生たち、ドライバーをしてくださった信者さん、教会の売店で出会った信者さん、私たちがミサを受けるために準備して下さった方々、夕食に招いて下さった家族、出会ったすべての方たちがとても良くして下さいました。このような経験ができたことはわたしの人生の中で重要なポイントになったと思います。私たちが韓国に行くためにサポートして下さいました。ありがとうございます。

マリア・セシリア T. A.



明洞カテドラルにて。李神父様と韓国の姉妹たち

保土ヶ谷教会を訪問しました！！

11/12(日)、『秋の教会訪問to保土ヶ谷教会』を行いました。テーマは『この夏、出会った仲間たちとの再会～そしてもっと繋がる～』。青年と子どもたち、保護者の方々と共に保土ヶ谷教会のミサとその後のバザーに参加してきました。ちょうど子どもミサの日で、七五三のお祝い。素敵な聖堂はもちろん、サマーキャンプで出会ったお友だちが侍者や先唱をしている姿を見たり、ドラムの演奏と共に子どもミサの歌を歌ったりと、貴重な機会となりました。グッと冷え込んだ週末でしたが、20名ほどの二俣川メンバーで祈って歌ってご飯を食べて、心温かく楽しむことができました。バザーの終盤には、計画していた『マニト』を実施。マニトとは、イタリア語で『秘密の友だち』を意味し、相手に気づかれないように親切にするなどの活動のことです。今回、保土ヶ谷教会訪問にて再会、または新しく出会った仲間たちと『マニト』を行い、待降節の間、その仲間のためにお祈りし、クリスマスカードを贈り合うという企画です。私たち、これからももっと繋がります！



●お子さん2人のパパに聞いてみました

うちの子どもたちは、普段教会に行く時は電車で行くのですが、教会学校のお友だちやリーダーと一緒に乗るのは初めてだったので、いつも以上にテンションアップ。保土ヶ谷教会は私も初訪問で、長い歴史を感じさせる重厚な雰囲気よかった。もちろん子どもたちも初めての訪問なので、不慣れなせいかもしれないけどいつもよりおとなしくしていたようでした。何度も行って場所に慣れたら、我が家かのような振る舞いになるのかもしれませんが…。教会のバザーというものも子どもたちは初めて。地域のお祭りとかには行ったことがあります。やはりお友だちと一緒にいると遊ぶ相手もいるし、また保土ヶ谷教会の皆様も温かく接してくれましたし、楽しそうでした。娘もまた行きたいと言っていました。遠足の最中、息子と手を繋いで引率してくれたり、ベビーカーを押してくれたり、荷物を持ってくれたりなど、リーダーや中高生メンバーや保護者の皆様には大変助けられました。

●小学5年生に聞いてみました

保土ヶ谷教会は雰囲気や建物に歴史を感じた。ドラム演奏があるのも良かった。ミサの流れはいつもと同じだけど、いつもと違う場所なので特別な感じがした。ミサの中で神父様に話しかけられてびっくりしたけど、神父様のお話は分かりやすかった。

●年長さんに聞いてみました

シルバニアファミリーのおうちのようなかわいい教会だった。寒かったけど、みんなでベトナムのフォーを食べてあったかくなった。

●お母さんに聞いてみました

はじめての遠足、青年や父母同士で自然にこどもたちのお世話を分けあう雰囲気があってとても助かりました。子どもたちもたくさん遊んでもらい大満足といった様子。保土ヶ谷教会の皆さんもあたたかく迎え入れてくださって、寒い1日でしたが心あたたまる時間を過ごすことができました。

●中学生に聞いてみました

日曜日の遠足、とっても楽しかったです！初めての保土ヶ谷教会だったけど友達もできてみんな話しやすくてよかったです。バザーも美味しいものがたくさんあってはしゃぎすぎました！ありがとうございました。

まず料理が美味しかったです！初めて保土ヶ谷教会に行ったけど、とても素敵でカトリックの歴史を感じることができる教会でした。いい経験ができたと思います。有り難う御座いました。

青年会





2023年～2024年 待降節&降誕節 主日と祭日カレンダー

月	日	曜日	典礼暦	ミサ	行事
12	2	土	待降節第1主日	17:00	13:30～待降節黙想会 (指導:上杉神父様)
	3	日		7:00 10:00	10:00 ミサの中で堅信式
	8	金	無原罪の聖マリア	10:00	
	9	土	待降節第2主日	17:00	
	10	日		7:00 10:00	10:00 ミサの中で入門式
	16	土	待降節第3主日	17:00	
	17	日		7:00 10:00	
	23	土	待降節第4主日	17:00	
	24	日		7:00 10:00	10:00 ミサの中で聖劇
			主の降誕 (夜半のミサ)	19:00	
	25	月	主の降誕 (日中のミサ)	10:00	
30	土	聖家族	17:00		
31	日		7:00 10:00		
1	1	月	神の母聖マリア	10:00	
	6	土	主の公現	17:00	
	7	日		7:00 10:00	
	8	月	主の洗礼	10:00	
	13	土	年間第2主日	17:00	
	14	日		7:00 10:00	10:00 青年のミサ(新成人のお祝い)





皆で祈りましょう！

12月3日からは待降節、救い主イエス・キリストがお生まれになるのを静かに待つ季節です。今月は、司祭、修道者に限らず、私たち自身が神様に仕えることができるよう黙想するときの祈りです。

教会のために召し出しを願う祈り

神よ、わたしは、あなたの国の証し人になる人びとが、数多く出るように祈ります。

キリスト信者の心に聖霊の息吹を注ぎ、あなたの招きの声を強く響かせ、

召し出しに応える清らかな愛を燃え立たせてください。

さまざまな立場で、自分の召し出しを考えている人びとが、

あなたの呼びかけに進んでこたえることができるようにしてください。

教会の母、マリアよ、わたしたちの願いを聞き入れ、

あなたの子イエスに取り次いでください。アーメン。

(「カトリック祈禱書 祈りの友」より)



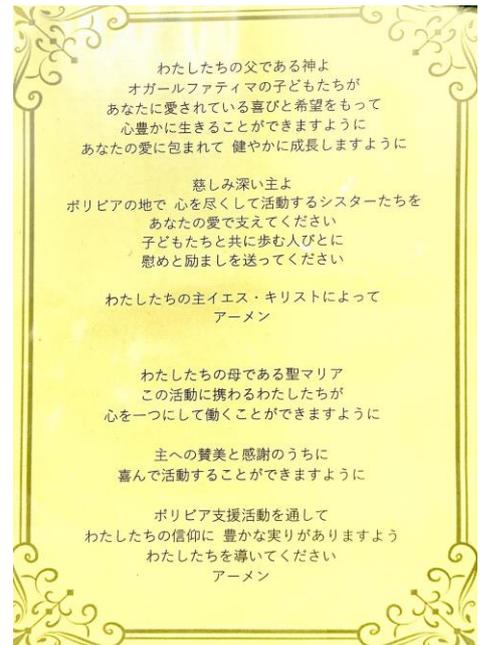
コロナ禍を経て、今後の活動を考えた時、姜神父様が本当の意味での支援とは何だろうと考える機会を与えて下さいました。そして、わたしたちの「活動の実り」は、ジャムや小物がいくつ売れたか、また、どのくらい献金ができるかではなく、どれだけ「神様の望み」を叶えられたかに尽きるのではないだろうかと考えました。

さらに「神様の望み」とはわたしたちが愛をもって、気持ちを一つにして活動する姿、霊的な成長、そして協力して下さる教会の仲間との一致だと気が付いたのです。それこそが「活動の実り」であり、ボリビアの皆さまも喜んでくださるのではないかと思います。

その「実り」を多くの人と共有するために、神父様のご指導のもと、皆で**このお祈り**を作りました。支援グループのメンバーだけでなく、ボリビアの皆さまを支援しようとする誰もが彼らの為に祈れば、その祈りを神様は喜んで受け取ってくださるでしょう。一人でも多くの方が「祈る支援者」となって、彼らのために一緒に祈って下さったらとても嬉しく思います。

このお祈りはのんびり日曜日開催時に展示しています。ご希望の方には、その際、お祈りカードをお渡しいたします。よろしく願いいたします。

マリア会 ボリビア支援グループ K. A.



☆☆☆ 二俣川教会ニュース ☆☆☆

- 11月23日(木・祝) 東京カトリック神学院で、「ともに歩む」をテーマに、ザビエル祭が行われました。4年ぶりにバスツアーを計画し、大勢で参加することができました。
- 11月26日(日) 「ふれあいミニバザー」が行われました。本当に寒い一日でしたが、お餅、焼き鳥、フィリピンのお粥、ベトナムの揚げ春巻などに舌鼓を打ち、子どもたちは聖堂にクリスマスツリーを飾り、「みんなで歌おう♪」に参加しました。(詳細は次号で紹介する予定です。)

【編集後記】

ごミサに集って与えるようになり、次第に歌声が戻り、侍者が戻り、互いの席も近くなり、その都度目に見える変化に感激しました。でも、ひとつの恵みのパンを分け合っている私たちは「互いに聴きあい、認め合い、受け入れ合い、励まし合い、愛し合う」二俣川教会に変化したかな? 成長したかな? 振り返って胸に聞いてみる 12月です。 (A. K. 記)